

科目名	現代社会	科目コード	10070
-----	------	-------	-------

学科名・学年	全学科・第1学年
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
単位数・区分	2単位・必履修
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義60】
教科書	資料 新総合政経（東京書籍）
補助教材	プリント、ビデオ、ウェブ、プレゼンテーション
参考書	授業中に指示

【A．科目の概要と関連性】

- ・近代民主主義の原理、日本国憲法、現代政治の諸問題
- ・国際政治、国際経済、民族・人種問題、南北問題
- ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、公害と環境問題
- ・市場経済のしくみ、日本の財政と金融、社会保障の仕組みと問題

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
社会や世界の仕組みと現状を学び、人類的に重要な問題を把握すること。	—	—
社会的な常識や問題意識および、良心的判断の基礎を獲得すること。	—	—
地球市民として、エンジニアの卵として人類や地球に優しい判断をし、意見を言えるようになること。	—	—

【C．履修上の注意】

この授業では社会的な常識や問題意識および、良心的判断の基礎を獲得してもらうことが主なねらいです。君たちは自主的に、それらの問題について新聞や書物を読んだり、インターネットを検索したり、テレビのニュースをみたりして、授業内容を補足しておいて下さい。特に地理の知識は重要です（サッポロ、センダイ、ナゴヤ、オオサカ、キョウト、フクオカ、カゴシマ、オキナワ、ナハ等の重要な地名を漢字で書けるようにしておいてください）。

【D．評価方法】

前期・後期各々の中間試験と期末試験（7割程度）、授業参加度（1割程度）、ノート提出（1割程度）、レポートなどの提出物（1割程度）で判定します。50点以上を合格点とします。

【E . 授業計画・内容】 前期

週	内容	備考
1	ガイダンス	
2	インターネット見学	
3	社会経済のあり方	
4	憲法原理：国民主権主義、平和主義、基本的人権の尊重	
5	国民主権：民主主義、三権分立	
6	政府の仕組み、選挙制度	
7	まとめと復習	
8	中間試験	試験時間：50分
9	平和主義：戦争の惨禍と戦争放棄、第9条の理解	
10	平和主義：新日米安保体制、世界の安全保障体制	
11	現代世界のグローバリゼーションと低開発	
12	冷戦後の世界、宗教・民族紛争と難民問題	
13	飢餓・貧困・低開発問題：国連の貢献	ミレニアムゴールズ
14	新南北問題：アフリカ問題、サミット体制、まとめ	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	基本的人権：女性同権化	
2	基本的人権：男女雇用機会均等法	
3	基本的人権：男女共同参画社会基本法	
4	地球環境問題：諸問題、公害と社会的費用	
5	地球環境問題：宇宙船地球号、持続可能な開発	
6	世界的対策：温暖化対策、人間の開発、まとめと復習	
7	中間試験	試験時間：50分
8	日本経済、国民経済計算、グリーン GDP	
9	世界経済とグローバリゼーション	
10	日本の財政（政府一般会計の構造、財政破綻問題）	
11	日本の金融（長期低金利、不良債権処理問題）	
12	日本の社会保障（公的年金制度の破綻？と改革）	
13	企業と労働者（技術革新と労働市場の変化、IT）	
14	まとめと復習	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

